

～教科担任(兼)学級副担任をする大卒新採教員等の担任力を育む 校内体制の工夫例(アンケートより)～

- ・ 1学期は参観を中心にして学校生活のリズムや学級経営のイメージをつかみ、徐々に、朝の会や給食指導、帰りの会の運営、定期的な1日担任など、学級担任業務の経験を増していく。
- ・ 保護者と関わる時の姿勢や話し方など保護者対応の基本について学べるよう、先輩教員と保護者との面談等に同席する。
- ・ 教科担任以外の教科指導も学べるように担当教科を工夫する。また、教科の系統性を学べるよう、複数学年の同一教科を持つ。
- ・ 特別支援教育の理解を深めるために、特別支援学級のサポートをする。
- ・ 様々な学年の子どもたちと関わるができるよう、研修や年休で担任が不在の学級で1日担任をする。



※ 空き時間は可能な限り教材研究や学級事務、先輩教員の授業を見る時間として活用できるように、ご配慮ください。

～新採教員支援員の主な役割～

新採教員支援員の目的は、学級担任をする大卒新採教員等の授業を一部受け持ち、大卒新採教員等の負担を軽減することです。



再任用短時間勤務職員	非常勤講師	会計年度任用職員
<p>教員免許 あり</p> <p>週 19.5 時間</p> <p>◎ 大卒新採教員等の学級の授業を5～8コマ程度受け持ちます。</p> <p>◎ 校務分掌を持ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大卒新採教員等の学級以外の授業を受け持ったり、学習のサポートをしたりすることも可能です。 	<p>教員免許 あり</p> <p>週 20～30 時間</p> <p>◎ 大卒新採教員等の学級の授業を5～8コマ程度受け持ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大卒新採教員等の学級以外の授業を受け持ったり、学習のサポートをしたりすることも可能です。 	<p>教員免許 なし</p> <p>週 30 時間</p> <p>◎ 大卒新採教員等の学級事務(点検業務や印刷業務、掲示業務等)の補助等を行います。</p> <p>◎ 大卒新採教員等の学級の学習や生活のサポート(給食指導や丸つけ、点数入力等)を行います。</p>

※ 学級経営や研修等の指導は、校内指導教員や拠点校指導教員が中心となって行いますので、新採教員支援員は、大卒新採教員等の負担軽減に係る業務に専念することになります。

新採教員育成・支援事業リーフレット

～小学校・義務教育学校(前期)における 大卒新採教員を守りながら育てるために～



1. 背景と目的

活気にあふれた学校づくりを進めていくためには、教員がいきいきと働くことができる環境づくりが重要です。しかし、近年、若手教員の早期退職が増加傾向にあります。また、教育諸課題が多様化・複雑化している中で、一人の担任がほぼ全ての教科を担う小学校・義務教育学校(前期)において、新採教員が採用時から学級担任を担うことは、負担が大きいとの指摘があります。

このような背景から、学校全体で若手教員をサポートしていく中、特に小学校・義務教育学校(前期)における大卒新採教員等の負担を軽減しながら計画的に育成するため、新採教員育成・支援事業を実施しています。

2. 事業概要

大卒新採教員等は、初年度、以下の(1)または(2)となります。

- (1) **教科担任(兼)学級副担任**となり、特定の教科の授業を受け持ちながら、先輩教員のそばで学級(学年)副担任として、学級経営や保護者対応等を学びます。
- (2) **学級担任**となり、**新採教員支援員**に特定の授業を受け持ってもらったり、学級事務のサポートを得たりすることでできる空き時間を活用し、教材研究等を行い、専門性を磨きます。

学校は、校長のリーダーシップのもと、大卒新採教員等の負担を軽減しながら、そのキャリアアップを図ります。

3. 本事業の対象者となる「大卒新採教員等」とは


- ・ 前年度に大学もしくは大学院を卒業した方
- ・ 非常勤講師(市町村の学習支援員等を含む)の経験はあるが、常勤講師の経験がない方
- ・ 学校での勤務経験がない社会人の方




(1) 大卒新採教員等が教科担任(兼)学級副担任となる場合

大卒新採教員等が教科担任(兼)学級副担任となる学校には、教員が1人多く配置されます。

学級担任



教科担任(兼)学級副担任



(大卒新採教員)

- 大卒新採教員等は担任を持たず、教科担任として、週17コマ程度、複数のクラスで特定の教科の授業を行い、授業力を身につけます。
- 学級(学年)副担任として、先輩教員のそばで学級経営や保護者対応等を学び、担任力を身につけます。(p. 4参照)

【教科担任(兼)学級副担任の学校生活(例)】

出勤	朝の会	1校時 空き 教材研究	2校時 理科 5の1	中休み	3校時 理科 5の3	4校時 理科 5の3	給食	屋休み	清掃	5校時 空き 印刷・掲示	6校時 理科 5の2	帰りの会	放課後	退勤
													行事準備・学年会 成績処理	

先輩教員の学級経営を見ることで、学級担任として活かしたいことを学ぶことができます。

実践を振り返りながら同じ授業を繰り返し行うことができ、授業力の向上につながります。

ワークライフバランスが整うので、笑顔で子どもたちと向き合えるようになります。


(週持ち授業時数 17時間)

	月	火	水	木	金
1	空き	理 6の1	空き	理 6の2	理 5の1
2	理 5の1	理 6の1	理 5の1	理 6の2	初任研
3	理 5の2	初任研 理5の3	理 5の3	空き	初任研
4	理 5の2	初任研	理 5の3	空き	空き
5	外 5の3	理 6の2	空き	外 5の3	理 6の1
6		空き	理 5の2	空き	空き

(2) 大卒新採教員等が学級担任となる場合


大卒新採教員等が学級担任となる学校には、新採教員支援員が1人配置されます。

学級担任



(大卒新採教員)

(新採教員支援員)



- 大卒新採教員等は学級担任として週14~17コマ程度(低学年は11~14コマ程度)授業を受け持ちます。
- 空き時間を活用しながら、教材研究や学級事務を行うことで、授業力と担任力を身につけます。
- 免許を持つ場合、大卒新採教員等の学級の授業を週5~8コマ程度持ちます。
- 免許を持たない場合、大卒新採教員等の学級事務の補助等を行います。(p. 4参照)

【これまでの学級担任の学校生活(例)】

出勤	朝の会	1校時 社会	2校時 国語	中休み	3校時 算数	4校時 音楽	給食	屋休み	清掃	5校時 特活	6校時 体育	帰りの会	放課後	退勤
													行事準備・学年会 成績処理 印刷・掲示 教材研究	

教材研究を行う時間があるので、よりよい授業作りを行うことができます。

空き時間に点検業務や丸つけ、教材研究などができるので、休み時間に子どもたちと関わることができ、児童理解が深まります。

時間と心にゆとりができるので、笑顔で子どもたちと向き合えるようになります。

(週持ち授業時数 24時間)

	月	火	水	木	金
		国	社	国	算
2	空き	道	国	算	初任研
3	算	初任研 算	算	図	初任研
4	社	初任研	音	図/音	国
5	体	社/家	特活	体	家
6		総合	体	空き	総合

【新採教員支援員が配置された場合の学校生活(例)】

出勤	朝の会	1校時 空き 教材研究	2校時 国語	中休み	3校時 算数	4校時 空き 印刷・掲示	給食	屋休み	清掃	5校時 特活	6校時 体育	帰りの会	放課後	退勤
													行事準備・学年会 成績処理	

教材研究を行う時間があるので、よりよい授業作りを行うことができます。

空き時間に点検業務や丸つけ、教材研究などができるので、休み時間に子どもたちと関わることができ、児童理解が深まります。

時間と心にゆとりができるので、笑顔で子どもたちと向き合えるようになります。

(週持ち授業時数 17時間)

	月	火	水	木	金
1	国	国	空き	国	算
2	空き	道	国	算	初任研
3	算	初任研 算	算	空き	初任研
4	空き	初任研	空き	空き	国
5	体	空き	特活	体	空き
6		総合	体	空き	総合